



CHAPTER 8

Cisco DCNM サーバのアンインストール

この章では、Cisco Data Center Network Manager (DCNM) サーバをアンインストールする方法について説明します。

この章では、次の内容について説明します。

- 「プライマリ Cisco DCNM サーバのアンインストール」 (P.8-1)
- 「セカンダリ Cisco DCNM サーバのアンインストール」 (P.8-2)
- 「Cisco DCNM サーバのアンインストール機能の履歴」 (P.8-3)

プライマリ Cisco DCNM サーバのアンインストール

プライマリ Cisco DCNM サーバをアンインストールするには、グラフィカル アンインストール インターフェイスを使用します。

作業を開始する前に

アンインストールする Cisco DCNM サーバを停止します。Cisco DCNM サーバを停止しないと、アンインストールを続行できません。詳細については、『*Cisco DCNM Fundamentals Configuration Guide, Release 5.x*』を参照してください。

手順の詳細

ステップ 1 次に示す必要な特権を持つユーザ アカウントを使用してサーバにログインします。

- Microsoft Windows の場合、ユーザ アカウントはローカル管理者グループのメンバーである必要があります。
- RHEL の場合、ユーザ アカウントは root である必要があります。

Cisco DCNM を Microsoft Windows でアンインストールし、Remote Desktop Connection (RDC; リモート デスクトップ接続) を使用して Cisco DCNM サーバ システムにアクセスする場合は、次のようにコマンド プロンプトから RDC を開始し、/console オプションを使用します。

```
C:¥>mtsc /console /v:server
```

server は、Cisco DCNM サーバ システムの DNS 名または IP アドレスです。

ステップ 2 次の該当するアンインストール プロセスを開始します。

- Microsoft Windows の場合は、デスクトップから、[Start] > [All Programs] > [Cisco DCNM Server] > [Uninstall DCNM] を選択します。ショートカットの場所は、Cisco DCNM サーバのインストール時に行った選択によって異なります。

または、次の実行可能ファイルを実行します。

```
INSTALL_DIR¥dcm¥dcm¥Uninstall_DCNM¥Uninstall_DCNM.exe
```

`INSTALL_DIR` のデフォルト値は、`C:\Program Files\Cisco Systems` です。

- RHEL の場合は、次のように、`Uninstall_DCNM` スクリプトを使用します。

```
sh Uninstall_DCNM
```

このスクリプトは、ホーム フォルダ、または Cisco DCNM のインストール時にリンク フォルダを設定する際に指定したフォルダにあります。

[Uninstall DCNM] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [Uninstall] をクリックします。

[Deleting DCNM DB] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 次のいずれかを行います。

- Cisco DCNM データベース内のデータを保持する場合は、[No] をクリックします。



(注) Cisco DCNM を再インストールする予定がある場合は、新しいデータベース インスタンスを作成する必要があります。インストール時に、以前の Cisco DCNM インストールのデータベース インスタンスを指定することはできません。

- Cisco DCNM データベースからすべてのデータを削除する場合は、[Yes] をクリックします。



(注) Cisco DCNM データベースのデータを削除すると、Cisco DCNM が収集したすべてのデータが永続的に削除されます。

データを削除するように選択した場合、アンインストール プロセスによってデータベースが削除されます。

アンインストール プロセスでは、サーバ システムから Cisco DCNM サーバ ソフトウェアが削除されます。

ステップ 5 [Done] をクリックします。

セカンダリ Cisco DCNM サーバのアンインストール

プライマリ Cisco DCNM サーバをアンインストールするには、グラフィカル アンインストール インターフェイスを使用します。

作業を開始する前に

アンインストールする Cisco DCNM サーバを停止します。Cisco DCNM サーバを停止しないと、アンインストールを続行できません。詳細については、『*Cisco DCNM Fundamentals Configuration Guide, Release 5.x*』を参照してください。

手順の詳細

ステップ 1 次に示す必要な特権を持つユーザ アカウントを使用してサーバにログインします。

- Microsoft Windows の場合、ユーザ アカウントはローカル管理者グループのメンバーである必要があります。
- RHEL の場合、ユーザ アカウントは root である必要があります。

Cisco DCNM を Microsoft Windows でアンインストールし、Remote Desktop Connection (RDC; リモート デスクトップ接続) を使用して Cisco DCNM サーバシステムにアクセスする場合は、次のようにコマンドプロンプトから RDC を開始し、/console オプションを使用します。

```
C:\>mstsc /console /v:server
```

server は、Cisco DCNM サーバシステムの DNS 名または IP アドレスです。

ステップ 2 次の該当するアンインストールプロセスを開始します。

- Microsoft Windows の場合は、デスクトップから、[Start] > [All Programs] > [Cisco DCNM Server] > [Uninstall DCNM] を選択します。ショートカットの場所は、Cisco DCNM サーバのインストール時に行った選択によって異なります。

または、次の実行可能ファイルを実行します。

```
INSTALL_DIR\dcm\dcm\Uninstall_DCNM\Uninstall DCNM.exe
```

INSTALL_DIR のデフォルト値は、C:\Program Files\Cisco Systems です。

- RHEL の場合は、次のように、Uninstall_DCNM スクリプトを使用します。

```
sh Uninstall_DCNM
```

このスクリプトは、ホーム フォルダ、または Cisco DCNM のインストール時にリンク フォルダを設定する際に指定したフォルダにあります。

アンインストール プロセスでは、セカンダリ サーバシステムから Cisco DCNM サーバソフトウェアが削除されます。

ステップ 3 DCNM_UninstallLog.log ファイルをモニタして、インストールのステータスを判別します。Cisco DCNM アンインストーラによって、現在のユーザ アカウントのホーム ディレクトリにログ ファイルが書き込まれます。

Cisco DCNM サーバのアンインストール機能の履歴

表 8-1 は、この機能のリリースの履歴です。

表 8-1 Cisco DCNM サーバのアンインストール機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
セカンダリ サーバのアンインストール	5.0(2)	この機能が導入されました。

